

radio Camnetに続くマガジン版

心身健全！

Radio camnet「心身健全！」担当の川崎医科大学 衛生学 大槻剛巳です。「心身健全」は2009年から開始しました。当初、CH-Fで毎月中旬のon airで放送させていただいておりました。昨年、2012年には一度、リニューアル！ OH-channelを新設していただき、毎月3～4曲の旧曲(大槻が高校～大学の頃に作った楽曲)を新たに録音しなおして(新録)お届けするMUSICと、日々の雑感や参加した学会その他の話題のBASIC、そして医学医療系の話題を中心にするMEDICALとして展開していました。つまり、いつでもどこでもチャンネルOHってな具合でやっておりました。

ただ、BASICとかMEDICALなどと自らの中で規制を作ってしまった中で、若干、それに縛られ始めた自分を感じてきてしまいました(勿論、通常の業務の中では、ある程度の縛りの中で仕事を達成させていくことはとても重要です)。

さて、いつもながら学会やら諸々で動き回ったりもします。そしてこのマガジン版のコラムでは、その様子を紹介してきたのですが、前回、ふと、気付きました。全く、季節感を喪失していました。そりゃあそうですね。リアルに今年動き回った報告を、それも2ヶ月ごとのマガジンで紹介すると・・・取り残してきた季節の残像ばかりを紹介することになっちゃいます。

って思ったので、前回からは季節感を重視することにしました。



今回、紹介するのは、少し前・・・2008年1月23日、所用で訪れた東京、少し早めに到着して「ちょっと寄り道/ブラ@タケミ」、その時の浜松町駅の近くの「旧芝離宮恩賜庭園」を散策しました。

が、珍しく東京は雪でした。朝のニュースで降っている様子も写されていました。その時の新幹線も新横浜のあたりは雪景色でした。東京に入って・・・それほど雪景色ではないのかなって思っていたら、庭園の中は白く包み込まれていました。

この旧芝離宮恩賜庭園はJR浜松町駅から歩いて2分くらいの処です。東京は江戸から名前を変え

て、明治・大正・昭和そして平成と、45+15+64+25-3=146年間(引く3は年号最後の年とそれぞれの元年は同じ暦年だからです)、日本の中心であったばかりでなく、その前、江戸時代もその通りで、中央集権が確立されていまして、大名屋敷やその他、沢山の歴史が残っています。ちなみに旧芝離宮恩賜庭園は「江戸幕府の老中・大久保忠朝の上屋敷内に作庭した大名庭園楽寿園を起源とする回遊式庭園である。作庭当時は海岸に面しており、浜離宮恩賜庭園同様汐入の庭であった。現在では周囲の埋め立てとビル群により海の眺望は失われた。一部が鉄道の増設用地に提供され面積が狭くなった。(referred from Wikipedia)」ということだそうです。



今は、高層ビルの立ち並ぶ中に門をくぐると思空間に入り込んだような静謐な(特にこの時には雪の中、訪れている人も少なく)張りつめた空気が漂っていました。

ちなみに老中・大久保忠朝は生誕が寛永9年11月13日(1632年12月24日)、死没が正徳2年9月25日(1712年10月25日)。『江戸時代初期に本多正信、正純父子との抗争に敗れて失脚した大久保忠隣の子孫にあたる。従兄の大久保忠職の養子となる。家督を相続する前より小姓、小姓組番頭を勤め、寛文10年(1670年)、肥前唐津藩9万3000石を相続し、延宝5年(1677年)、老中となる。貞享3年(1686年)には祖父忠隣の領地であった小田原への復帰を果たす。漸次加増を受け、最終的に11万3000石となる。『土芥寇讎記』における人物評価、特に「謳歌評説」などでは忠朝を、戸田忠昌、阿部正武ら同僚と並べて「善人の良将」と評している。徳川吉宗が世に出るきっかけを作った人物でもある。なお、現在の旧芝離宮恩賜庭園は延宝6年(1678年)に忠朝が4代将軍徳川家綱から拝領した庭園が原型となっている。(referred from Wikipedia)」ということで、歴史を遡っていくと、いろんなことを知ることが出来ますね。原型は336年っていうのですから。



海岸ベリですので、いろんな鳥が寒い中でも元気にしていました。鴨もいれば?鳩も入り乱れてっ感じてました。



そしてこの時、ちょっと感動的だったのは、冬のモノトーンに拮がっている庭園の中に一か所だけ淡いけれど彩のある場所がありました。



なんと、そこには桜が。1月末です。こうやって学会や業務に関連して出張していて、春から夏などは色鮮やかな花々や木々の緑を愛することも多いのですが、この時期は皷梅などを見つける以外、なかなか可憐な花を見つけることが難しい季節に、コート襟を立てて、悴む指先でデジカメのシャッターを押している時にこんな花を見つけることが出来るなんて。この時の出張は若干、気持ちに重い内容だったのですが、この桜を観ることが出来ただけで、心を縛り付けていた何かが緩んでくれた気がしました。案内板には「じゅうがつさくら」と記してありました(他にも「冬桜」という品種もあるそう

ですが、「十月桜」も含めて「冬桜」と呼ぶ場合もあるそうです。



さて、『この地はかつて海面で、明暦(1655～1658年)の頃に埋め立てられ、延法6(1678)年に老中・大久保忠朝の邸地となり、上屋敷を建てる際に藩地の小田原から庭師を呼び寄せて作庭し、これを楽壽園と命名したそうです』とのことでもあり、海水を邸内に組み入れたりもされていました。また、こういった処も干拓あるいは埋立の歴史なんですね。岡山県でも児島湖周辺、水島コンビナートの辺り、さらには浅口市寄島町、笠岡市など干拓や埋め立ての海岸線が沢山あります。人間の経済活動であったり、産業育成の歴史でもあり、古くは農業用地の開発から更には工業発展で海岸線がどんどん変化したのですね。結構、内陸部なのに「新田」なんて地名があったり、時には「古新田」なんて地名があったりするのも干拓の歴史だと思います。

いずれにしても東京に出張するとこういった旧大

名屋敷跡の庭園などが整備されていて、訪れてみるのは心を自由に浮揚させてくれます。みなさんもどうですか？

さて、いつもの楽曲紹介、すでに「心身健全」でも紹介したことがあります、「さよなら2月」です。1979年3月11日の作品です(作詞・作曲:大槻剛巳)

コート襟を なおして
君は消える あの十字路
せめて最後に 微笑みがあれば
こんな別れは イヤと云ってた
それは 君だよ
TVドラマの 筋書きよりも
あっけなく 右と左へ
いいよ もうすぐ
さよなら 2月

きまぐれ気味の アバコで
そうか君も 疲れてたの
涙見せずに 頷いていたネ
こんな別れで 3年越しの
愛も 終わりか
指輪ひとつを 返せないまま
あっけなく 前と後ろへ
いいよ もうすぐ
さよなら 2月

消えたタバコを 北風に投げて
こんな別れは 初めてだけど
わりと 気楽さ
名前ぐらいは 覚えておいて
さり気なく 別れてやるサ
いいよ もうすぐ
さよなら 2月

♪オリジナルCDプレゼントします！
詳しくはプレゼントコーナーで

♪聴いて！

東北関東大震災オリジナル復興支援ソング

<http://www.youtube.com/watch?v=YFd0vHdwhyc>

<http://www.youtube.com/watch?v=CW7syPcr ikU>



【プロフィール／大槻 剛巳(おおつき たけみ)】

川崎医科大学衛生学教授

0歳:京都府福知山市にて生誕

14歳:京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位

14歳:KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用

15歳:倉敷市に転居

15&18歳:NHKあなたのメロディー出演

18歳:YAMAHAポプコン全国大会(譜面の部)出場

20歳:YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり

24歳:川崎医科大学卒業

以降:川崎医科大学血液内科～衛生学にて診療・研究・教育に従事

1992-1996年:米国学留学(医学研究)

1996年:岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載

2009年:Camnet CH-F(10-19)パーソナリティ担当

現在に至る